

枚方市立川越小学校



「子どもが主役」の川越小

【子どもと共に育ち合う学校像】

「みんなが安心 みんなで創る

一人一人が輝く ごきげんに生きられる学校」

5
月
号

枚方市立川越小学校通信
令和7年4月30日
校長 吉川 茂樹
TEL 050-7102-9120

学校だよりのタイトルが決まりました！



子どもたちに投げかけていた**学校だよりのタイトル**ですが、「校長先生、考えたよ～！」とたくさんの子どもたちが案を教えてくださいました。圧倒的に多かったキーワードが「子どもが主役」でしたので、学校だよりのタイトルは『**子どもが主役**』の川越小にさせていただきます。

対面式の際にも「川越小学校は校長先生のものではありません。**川越小学校はみなさんのものです。**みなさんにあげました！どんな学校にしていくのか、どんな授業にしていくのか、それは**みなさんたちで考えて、決めて、創っていただく**。」と話をしました。

この考えのもとになっている「**エージェンシー**」という言葉、みなさんご存じでしょうか？この「エージェンシー」という言葉が注目されるようになったのは、OECD が発表した「ラーニング・コンパス 2030」の中で中心的な概念として示されたからです。「エージェンシー」というのは、日本語

に言い換えると、**主体性・当事者意識**といった言葉あたりがフィットします。日本財団が行った18歳意識調査で、「日本」「アメリカ」「イギリス」「中国」「韓国」「インド」の6カ国中、「自分は責任ある社会の一員だと思う」「自分の行動で国や社会を変えられると思う」「国や社会に役立つことをしたいと思う」など、自国の将来に関する全質問で日本は6カ国中最下位となっており、**日本の子どもたちは、他国に比べて当事者意識が低い**と言われています。

そういった背景からも校長としては、授業や学校行事や校則などを、**児童自身が主体性・当事者意識をもってつくりかえていくこと**こそが、今、日本の学校教育に求められているのではないかと考えております。本校の教職員にも「**失敗大歓迎！やりたいことをやってみよう！まずやってみる！**」といった校長の経営方針を示しておりますが、子どもたちも同様にやりたいことをやって、安心して失敗して、そういった中で「生きる力」を育てほしいと思っております。

授業のある日は欠かさず学校の様子をアップしています。
保護者の皆様におかれましても、スマホのホーム画面に追加するなどして、ぜひ毎日ご覧ください。



学校ブログ